

若手職員の合同交流会

結城市役所と達生堂グループ

同じ結城市内で働きながら、ふだんは交流の機会が持てない職員たちが一堂に集まり、「茨城を食べよう」と、茨城県産の食材を使った料理を作り、ゲームでお互いの理解を深めていこうと、結城市役所と達生堂グループは2月26日、通所リハビリテーションセンター「茶釜の湯」をメイン会場に、交流会を開きました。

今回の交流会には、結城市役所と達生堂グループの若手職員約40人が参加しました。茶釜の湯で、参加者全員が簡単な自己紹介をした後、栃木県小山市のボーリング場に場所を移し、ボーリングを楽しみました。

茶釜の湯に戻ってからは、茨城県産の食材をメインにした調理に、全員で取り組みました。

料理の得意な人、ふだんから台所仕事をあまりしない人、お互いに協力して調理にチャレンジ。サンドイッチやサラダ、フルーツポンチなど簡単なものから、本格的な料理までを取り揃えました。煮込みハンバーグは、トマトケチャップを煮込み、味を調べてソースを作り、ハンバーグを煮込んで出来上がり。炊き込みご飯は、出汁を鰹節からとる本格的な料理。醤油や料理酒、みりんで味を調べて、具材を

入れて完成。

参加者は料理に舌鼓を打ちながら、仕事のこと、結城での生活、いろんな話で盛り上がり、トランプゲームなどで触れ合いを深めていました。

平成29年2月27日

